

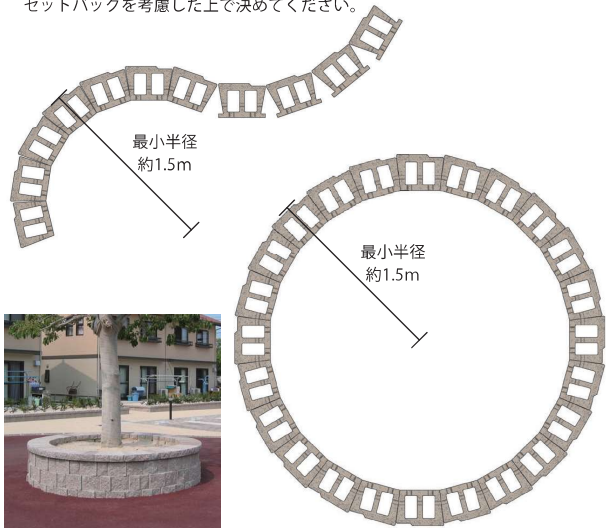
ストーンセレクトの特長

曲線部（内曲がり・外曲がり）・円形の施工

さまざまな曲面をつくることができます。ストーンセレクト基本型のウイングをハンマーで割り落とすことで、最小半径約1.5mの曲線施工が可能です。



※最上段部分で最小半径約1.5mまでR施工が可能です。1段ごとに約19mm後退しますので、つみ始めの寸法はセットバックを考慮した上で決めてください。



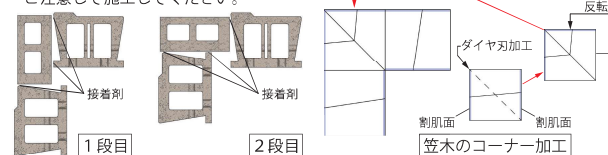
セットバック5°

専用の結合クリップとブロック空洞部の勾配により、1段ごとに約19mmのセットバックをします。そのため、ストーンセレクトの壁面勾配は約5°（1：0.09）の傾斜が自動的に設定され、自然の石積み風の壁面をつくり出すことができます。段数により、カーブの半径が変わるため、設計の際にはご注意ください。



隅角部の施工

コーナー型を使用することにより、90°の直角コーナーを簡単にすることができます。※コーナー型は、1段おきに90°向きを変えて同じ並びのパターンにならないよう、ご注意ください施工してください。

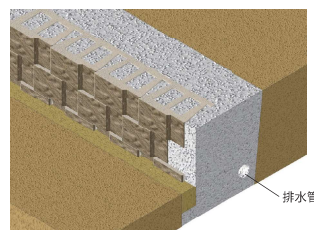


排水工

盛土の排水は、安定性および施工性を確保するため、設計に基づき適切に行わなければなりません。

排水システム

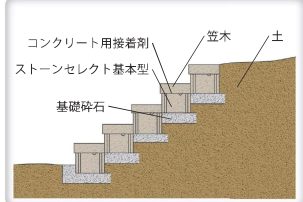
「ストーンセレクトシステム」の盛土の水は、裏込め碎石を主体に下方へ排水され、乾式のためストーンセレクトの隙間からも排水されます。



バリエーション

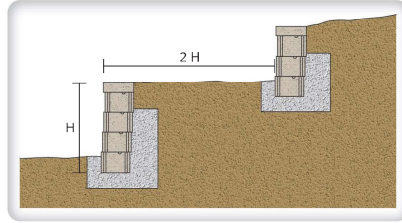
階段を設ける場合

直線階段やステップが広がったデザイン、またさまざまな蹴上げ高さ（9～20cm）をつくることができます。



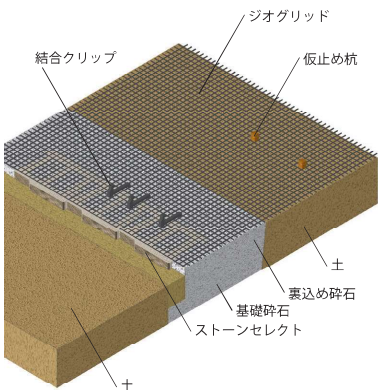
段付き擁壁を設ける場合

段付き擁壁をつくることが可能です。



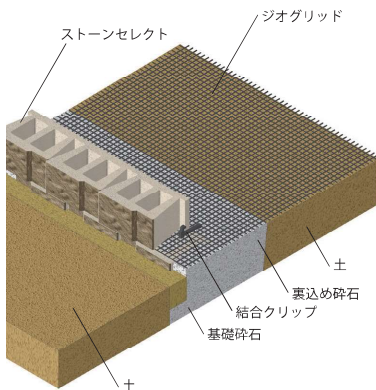
4 ジオグリッドの敷設

ジオグリッドのロールを所定の長さに切断し、正しい向きであることを確認し、敷設します。この時、必ずジオグリッドが下段のストーンセレクトの空洞部より2cm程度前面に出るようにジオグリッドの端部を敷設します。次に、ジオグリッドの上から結合クリップの下段のクリップ受けに差し込み、次の段のストーンセレクトに据付けます。ジオグリッドは強く引き、たるまないように杭などで仮止めします。



5 2段目以降の施工

下段のストーンセレクトのクリップ受けに結合クリップを取り付け、下段のストーンセレクトを横に半分ずつずらしながら積み並べます。その際、上段のストーンセレクトを前面にずらし、結合クリップにしっかり当たるようにします。中込め碎石の充填は1段目と同様に行いますが、ジオグリッドとのインターロッキング効果が発揮されるように十分締固めます。



6 上端部の仕上げ施工

コンクリート接着剤を適量（笠木ブロック1個につき25mℓ程度）塗布し、笠木ブロックを載せて圧着、固定します。

接着の前には、ストーンセレクトの接着面の汚れ、ごみ、水分等をよく取り除いて下さい。（接着面が汚泥の付着や湿潤状態の場合、十分な接着力を発揮出来ない恐れがあります。）

